

2025年1月14日（火）

ITOCHU SDGs STUDIO

子どもたちの読書環境を支えてきた50年の歩みと未来をつなぐ
伊藤忠記念財団50周年企画展示「未来につなぐ子どもの読書」
2月5日（水）～3月2日（日）に開催

～手話で絵本を楽しみ、オリジナル絵本を作る！体験型ワークショップも実施～



ITOCHU SDGs STUDIO（東京都港区北青山2-3-1 Itochu Garden）は、公益財団法人伊藤忠記念財団が主催する、伊藤忠記念財団50周年企画展示「未来につなぐ子どもの読書」を、2025年2月5日(水)～3月2日(日)の期間で開催することをお知らせします。

伊藤忠記念財団は、1974年9月30日に「次世代を担う青少年の健全育成に寄与すること」を目的として、伊藤忠商事によって設立されました。以来、設立の翌1975年度に開始され現在まで続く「子ども文庫助成」¹や、1977年5月から2011年3月まで続いた東京小中学生センター²の運営を通して、多くの子どもたちの生活やその読書環境の充実を目指してきました。2010年度からは電子図書普及事業部を新設し、紙の本での読書が困難な子どもたちへの読書支援を目的に、児童書を電子化（マルチメディア DAISY 規格）し、全国の特別支援学校などへ寄贈する事業を続けています。「すべての子どもたちに読書の喜びを」が、現在の伊藤忠記念財団のテーマです。

1 子どもたちの読書啓発活動を行う民間団体や施設、個人を対象に、活動費や図書現物を助成する事業。2023年度までの累計助成件数は2,808件。

2 伊藤忠記念財団が板橋区大谷口に設立し、運営していた児童館。家庭でも学校でもない第三の居場所として小中学生に開放し、自由に過ごせる空間を提供していた。

財団設立 50 周年を迎えるにあたり、これまでの取組みをより多くの方々に知っていただきたいと考え、今般、50 年の歩みと未来をつなぐ現在の事業を紹介する展示イベントを企画しました。展示会場には、好きな児童書を手にとって読むことで「子ども文庫」を疑似体験できるコーナーや、マルチメディア DAISY 図書「わいわい文庫」の操作を実際に体験できるコーナーをご用意しています。さらに、展示期間中には、子どもたちが読書の楽しさを体験できるさまざまなワークショップも実施いたします。

この展示を通して、今を生きる子どもたち、そして家庭や仕事、ボランティア活動の中で子どもと関わる多くの大人たちに、「本が身近にある生活の豊かさと楽しさ」が広まることを願っています。

■「未来につなぐ子どもの読書」概要

主催 : 公益財団法人伊藤忠記念財団

開催期間 : 2025 年 2 月 5 日(水)~3 月 2 日(日)

会場 : ITOCHU SDGs STUDIO GALLERY (東京都港区北青山 2-3-1 Itochu Garden B1)

営業時間 : 11:00~18:00

休館日 : 月曜日 (※月曜日が休日の場合、翌営業日が休館)

アクセス : 東京メトロ 銀座線『外苑前』駅 出口 4a より 徒歩 2 分

東京メトロ 銀座線・半蔵門線・都営地下鉄 大江戸線『青山一丁目』駅

出口 1 (北青山方面) より徒歩 5 分

料金 : 入場料無料

詳細 : <https://www.itc-zaidan.or.jp/50th.html>

後援 : 文部科学省、公益社団法人全国学校図書館協議会、公益社団法人読書推進運動協議会、公益財団法人文字・活字文化推進機構

■展示内容詳細

伊藤忠記念財団の歩みや現在の事業内容について知ることのできる 3 つのコーナーを設けています。子ども文庫コーナーやわいわい文庫コーナーでは、紙の本やマルチメディア DAISY 図書 (PC・iPad 使用) を通して、実際に児童書を読むことができます。また、出口付近にはフォトスポットをご用意しましたので、ぜひ記念の一枚をお撮りください。

① 伊藤忠記念財団 50 年の歩み

伊藤忠記念財団の 50 年の歩みを、写真付きの年表で紹介するコーナーです。

現在も行っている「子ども文庫助成事業」や「電子図書普及事業」の歴史に加え、過去に実施していた東京小中学生センターの運営や野外教育事業、留学生助成なども紹介し、これまでの活動を振り返ります。



年表に掲載予定の写真の一部 (1975 年度と 2023 年度の贈呈式の様子)

② 子ども文庫コーナー

当財団が設立翌年から支援を続けてきた「子ども文庫※」の内観をイメージしたコーナーです。おすすめ図書リストに掲載している 550 冊の児童書・絵本から数百冊を選び展示します。会場内で自由に読める空間もご用意しています。

※子ども文庫とは

地域住民によって運営される子どものための小さな図書室・図書館です。戦後、まだ日本に公立図書館が少なかった時代に、個人の家庭や地域の公民館などを拠点に、数多く作られました。当財団は、1975 年 4 月から、「子ども文庫助成事業」を通じて、全国の子ども文庫への活動費や図書現物の助成を続けています。



子ども文庫のイメージ（写真は財団がかつて運営していた東京小中学生センターの「本の部屋」）

③ わいわい文庫コーナー

障害のある子どもの読書支援のため、当財団内で製作しているマルチメディア DAISY 図書「わいわい文庫」を体験できるコーナーです。会場内に設置されてあるパソコンやタブレットから、マルチメディア DAISY（電子）化した児童書を読むことができます。体験コーナーのテーブル上には、わいわい文庫の操作案内や使用上の注意事項も展示されています。なお、財団職員が事業説明を行う機会をご提供予定です（日時については HP 等で告知予定）。ご興味のある方は、ぜひご参加ください。

※わいわい文庫とは

当財団が製作した「マルチメディア DAISY 図書」（音声と一緒に文字や画像が表示されるデジタル図書）の愛称です。著作権法第 37 条第 3 項のもと、文化庁長官から指定団体に認可されており、障害のある方に情報提供をする場合に限り、著作権者の許諾を得ずに公表された著作物の複製や公衆送信が認められています。白い CD 盤面には著作権法第 37 条第 3 項のもとでマルチメディア DAISY 化した児童書（＝障害がある方のみ閲覧可能な作品）を収め、青い CD 盤面には普及とお試しのために、著作権者の了解を得た上で障害の有無に関わらず閲覧可能な作品を収めています。すべての子どもたちに読書の喜びや言葉・知識を身に付ける楽しさ、一冊の本を読み通したときに得られる達成感を届けられるよう、日々製作に励んでいます。



当財団が製作している「わいわい文庫」の CD 盤面。白い盤面は著作権法第 37 条第 3 項の規程にもとづき、障害がある子どもたちの読書のために作成している。展示会場では障害の有無に関係なく誰でも閲覧できる青い盤面の作品を視聴可能。

④ フォトスポット

展示会場を訪れた記念に、当財団のキャラクター、わいわいベアと、一緒に写真を撮れるコーナーです。

※わいわいベアとは

子どもたちと一緒に本を読むのが大好きなくま。いつでも本を読めるようにお気に入りの本を小わきに抱えている。



わいわいベア



フォトスポットのイメージ

■ワークショップ概要

【1】しゅわよみ！～手話による絵本の読み語り～

特定非営利活動法人しゅわえもんのスタッフを講師に招き、手話による絵本の読み語りと手話を体験します。

開催日時：2月9日（日）

① 11：30～12：30 ②14：00～15：00

対象：5歳～小学校6年生程度

※各回10家族（事前申し込み・先着順）

会場：ITOCHU SDGs STUDIO GALLERY（予定）

予約URL：https://www.itc-zaidan.or.jp/50th.html#event02_relation01



【2】自分だけの「みーせーて絵本」をつくってみよう！

絵本作家スギヤマカナヨさんを講師に招き、ご著書『みーせーて』の読み聞かせと、ハンドスタンプによる絵本作成を行います。画材はキットパス（米ぬかから取れるワックスが原料の絵具/日本理化学工業）を使用します。

開催日時：2月23日（日）

① 10：30～12：00 ②14：00～15：30

対象：3歳～小学校6年生程度 ※各回10組20名

（事前申し込み・先着順）

会場：ITOCHU SDGs STUDIO RADIO STATION（予定）

予約URL：KIDS PARK 公式サイト（<https://www.itochu.co.jp/ja/kidspark/index.html>）

※1月23日からご予約開始。予約ページにアクセスしてください。



【3】さわって楽しむ宇宙～インクルーシブ天文のススメ

京都大学名誉教授の^{みなしげしん}嶺重慎先生が、宇宙の天体や生命について、^{しよくす}触図や模型を使いながら小学生向けにお話します。マルチメディア DAISY 図書での読書も体験できます。

開催日時：2月24日(月・祝日)

10：30～12：00 ②14：00～15：30

対象：小学校3年生～小学校6年生程度

※各回10組20名(事前申し込み・先着順)

会場：ITOCHU SDGs STUDIO RADIO STATION (予定)

予約 URL：KIDS PARK 公式サイト (<https://www.itochu.co.jp/ja/kidspark/index.html>)

※1月23日からご予約開始。予約ページにアクセスしてください。



【4】東京子ども図書館 おはなしのじかん

当財団と同年に50周年を迎えた公益財団法人東京子ども図書館の職員を招き、昔話や物語のストーリーテリングをしていただきます。(ストーリーテリング：覚えたお話を本を読まずに語る。素話ともいう)

開催日時・対象：3月2日(日)

①11：30～12：00(3歳～小学校1年生向け)

②14：00～14：30(小学校2年生～6年生向け)

③15：00～15：30(小学校2年生～6年生向け)

会場：ITOCHU SDGs STUDIO GALLERY (予定)

備考：各回10家族※事前申し込み・先着順

予約 URL：https://www.itc-zaidan.or.jp/50th.html#event02_relation04

※2月3日からご予約開始。予約ページにアクセスしてください。



■伊藤忠記念財団について

1974年9月30日、青少年の健全育成を目的に伊藤忠商事株式会社が発立。発足直後の1975年度に子ども文庫助成事業(子どもの読書推進に携わる全国の方々を支援)を開始。児童館(東京小中学生センター)の運営や研究助成、留学生助成等の事業開始及び終了を経て、2010年度には電子図書普及事業(マルチメディア DAISY 図書「わいわい文庫」の製作と普及)を開始した。現在、「子ども文庫助成事業」と「電子図書普及事業」が財団の事業の2本の柱。全国で活動する草の根の読書ボランティアへの支援、特別支援学校や特別支援学級で学ぶ児童・生徒たちに対する読書支援等を中心に行っている。2024年9月末に設立50周年を迎えた。



【ITOCHU SDGs STUDIO】とは？

- ◆伊藤忠商事が運営する SDGs を様々な角度から切り取った情報発信・体験の場をつくり「人と商いと地球」をつなぐカルチャープラットフォームとして、展示コンテンツや「KIDS PARK」「こどもの視点カフェ」などを展開。
- ◆当社冠番組『J-WAVE SELECTION ITOCHU DEAR LIFE, DEAR FUTURE』における世の中の「SDGs」の取り組みを発信。
(番組ナビゲーター：SHELLY 氏)
- ◆SDGs に関わる活動をされている団体等への展示スペース・SNS 発信等の撮影スペースとして無償提供。



場所 : 東京都港区北青山 2-3-1 (伊藤忠商事 東京本社敷地内 Itochu Garden)

公式サイト URL : <https://www.itochu.co.jp/ja/corporatebranding/#SDGsstudioArea>

公式Instagram : https://www.instagram.com/itochu_sdgs_studio/